

〔学生情報センター「ナジック」主催〕

「ナジックウェルカムパーティ」600名が集う



福田拓殖大理事長 寺島多摩大学長 学生への激励や学生同士の交流の場として大学関係者らが毎年開催(東京ドームホテル)



井上日本国際教育支援協会理事長、工藤東京電機大監事、清成法政大学事顧問 北澤学生サポートセンター理事長④と学生代表



藤原スパン理事、大塚元総理秘書官室



堀江学生サポートセンター事務局長、日向野国大協企画部長、阿部日本国際教育協会専務理事、諸橋国大協サービス社長



ナジックの堀江事務局長、原次長、三橋事務局長代理、大越主任調査役、内山主任調査役



土居ナジック特別顧問と佐藤、谷本、秋山、木之下の国立大部長

学生情報センター「ナジック」主催による「ナジックウェルカムパーティ」が5月30日夜、東京都文京区の東京ドームホテルで開催され、学生並びに学校関係者など約60名が参加した。同グループは、全国12都府県で8万戸以上の学生マンションや大学寮施設の管理運営、全国200校以上の大学等が加盟する学生アルバイト情報ネットワークや学生就業体験事業「ワークプレースメント」を運営している。

このパーティーは、全国7エリア8会場で、親元を離れ新生活をスタートした留学生を含む学生への激励と学生同士の交流を図る場として、マンションオーナーや学校関係者、企業関係者等、約4,000名が参加し毎年開催されている。

来賓を代表して寺島実郎多摩大学学長(日本総合研究所理事長)が挨拶に立ち、「ナジックとの縁はもう6・7年になるが、毎年出

席して、ものすごい勢いでナジックが前進していると感じています。私自身、文部科学省の大学の世界展開力強化プログラムの委員として参画する中で、大学は一層グローバル展開を視野に入れなければならなくなり、留学の受け入れや最終的な出口としての就職までの受け入れや最終的な出口としての就職まで含めて、大学が悩みだと思っていたことや、大学や学生にまつわる様々なニーズを具体的なプロジェクトに変えていく、ニーズの産業的解決者がナジックだと思い期待して、ナジックが11月に企画しているワークプレースメント大会も応援しています」と述べ、また会場にいる300名以上の学生に向かって「大いにナジックのポテンシャルを活用して学生生活を充実させていたい」とエールを送った。